

公益財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業

2022年度

第2弾

福島県福祉レクリエーションセミナー

兼 全国福祉レクリエーション・ネットワーク 北海道・東北ブロックセミナー

令和4年

11月26日(土)

「子どもの遊びと感覚統合」

サンフレッシュ白河(白河市)



令和4年

12月11日(日)

「子どもの発達を促すあそびのみかた」

とうほう・みんなの文化センター
(福島県文化センター)(福島市)



参加者及び予定人数

- 1 社会福祉関係施設などでレクリエーション活動を担当する方
- 2 地域などで社会福祉事業に携わっている方
- 3 子どもの活動を支援している方
- 4 ボランティア活動をめざす方
- 5 福祉またはレクリエーションに興味・関心のある方、どなたでも

予定人数各回30名(16歳以上・先着順)

主催

共催

後援

福祉レクリエーション・ネットワーク in ふくしま
全国福祉レクリエーション・ネットワーク
特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会
社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

参加費

一人につき、一回**2,000円**（参加費は、当日現金でお支払いください。）
日本レクリエーション協会公認有資格者および学生は1割引。
学生はワンコイン500円（当日、学生証を呈示のこと）

携行品

筆記用具、上履き、運動しやすい服装、昼食、水分など

申込み 方 法

お名前・性別・生年月日（西暦）・e-mail アドレス・電話番号・ご住所等を明記のうえ、各開催日の1週間前までに、e-mail・郵便・FAX・電話等で下記へお申込みください。

申込み 問合せ先

福祉レクリエーション・ネットワーク in ふくしま

E-mail info.f@fuku-rec.net

〒960-8153 福島市黒岩字田部屋53-5

（NPO）福島県レクリエーション協会気付

TEL 070-5125-2940 または 024-544-1886

FAX 024-572-7800



そ の 他

- 本講習会は、福島県レクリエーション協会作成の「CORONA 感染拡大防止ガイドライン」に従って開催します。
- 本講習会は、「レクリエーション・インストラクター」資格取得のための単位の一部を取得できる講習会です。
（承認番号07-22-07）
- 本講習会の詳細については申込先へお問い合わせ下さい。

----- 〈切り取り線〉 -----

2022福島県福祉レクリエーションセミナー第2弾 参加申込書

（ふりがな）	性別		年齢	生年月日（西暦）
お名前	男	女	歳	年 月 日
e-mail アドレス 必須	必ず、PC からのメールを受信できるメールアドレスを記入してください。 携帯・スマートフォンの場合は、PC からのメールを受信できるよう設定してください。			
電話番号	自宅 携帯			
ご住所	〒			
お仕事または お勤め先	☐ 学生の方はチェック		有資格者 ID	
参加希望 参加を希望する 回に、○を つけてください。	参加希望回に○	期 日	会 場	参加費
		11月26日（土）	サンフレッシュ白河（白河市）	2,000円
		12月11日（日）	とうほうみんなの文化センター（福島県文化センター）（福島市）	2,000円

令和4年
12月11日
(日)

10:00

12:00 13:00

15:00

受付

開
会

子どもの発達を
促すあそびのみかたⅠ

昼
食

子どもの発達を
促すあそびのみかたⅡ

閉
会

講 師

福島県立医科大学保健科学部

作業療法学科助教 田中 善信 先生



子どもは日常生活スキルや社会スキルなどを、発達段階に応じた“遊び”を通して学んでいきます。発達障害などを抱えた子どもたちは、さまざまな場面で育ちにくさを感じることが多くあります。そして、気がつかないうちに“遊びの機会”が失われていることもあります。そこで、子どもたちの運動発達や社会性の発達の段階に応じたおもちゃや遊具選択のポイントや、遊び方の工夫などについて、作業療法士の視点を用いた展開についてお話をしたいと考えています。

講師プロフィール

2019年4月 公立大学法人福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 助手
2019年10月 公立大学法人福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 助教
2021年4月 公立大学法人福島県立医科大学保健科学部作業療法学科 助教

現在は大学勤務の傍ら、福島市内の放課後等デイサービスにて、子どもたちの支援に関するアドバイス・相談業務を行っている。また、研究活動は発達障害を抱える子どもたちが通う施設の職員を対象とした、発達障害の障害特性と支援に関する知識尺度の開発と研修モデルの構築を目指し活動している。

今 後 の セ ミ ナ ー 予 定

2023年 2月5日(日) 認知症予防最前線2023

会 場 ラコパふくしま(福島市)

プログラムおよび講師

令和4年
11月26日
(土)

10:00

12:00 13:00

15:00

受付	開会	子どもの遊びと 感覚統合Ⅰ	昼食	子どもの遊びと 感覚統合Ⅱ	閉会
----	----	------------------	----	------------------	----

講師

横浜市北部地域療育センター

作業療法士 松本 政悦 先生



人間の感覚は、五感（触覚・視覚・聴覚・味覚・嗅覚）に加えて、固有受容覚（手足の状態・筋肉の伸び縮みや関節の動きを感じる感覚）と前庭覚（身体の動きや傾き、スピードを感じる感覚）があります。感覚統合とは、これらの感覚を、脳の中で整理したり、まとめたりすることです。この機能が成熟することによって、環境から情報を受け取り、同時に身体状況を把握したうえで、環境に適応した行動をとることができます。

発達障害がある子どもたちには、この機能が十分に成熟しておらず、姿勢を保つことや、なめらかに体を動かすこと、必要な情報を選択して取り込むことなどが苦手な場合が多く見られます。

この機能は、乳幼児期に遊びをとおして学習されます。子どもたちは、面白いから、楽しいから、何度も繰り返し感覚運動経験を積み重ね、感覚を統合させていくのです。発達障害のある子どもたちの苦手さは、幼児期にこれらを学びきれていないことが原因であるといえることができます。

このセミナーでは、発達障害の子どもたちが学び損ねている脳機能についてわかりやすく解説するとともに、具体例なあそびもいくつか紹介していきます。

講師プロフィール

1996年4月 横浜市戸塚地域療育センターに入職
2005年4月 横浜市総合リハビリテーションセンターに異動
2016年4月 よこはま港南地域療育センターに異動

なぜか幼児期から運動や楽器演奏が苦手であった。大学は工学部に進学したが、（今考えてみると）周囲には発達障害圏の学生が多かった。学生ボランティアで自閉症の子どもたちと関わり、思いがけず楽しい経験となる（今振り返ると、自分の中の自閉症的な部分が共鳴していたかも？）。その後電機メーカーに就職し4年間研究開発に携わるも、機械相手の仕事に満足できず退職。作業療法士が障害のある子どもに関わる場面をたまたま目にして衝撃を受け、養成校に入り直した。以後22年間、障害のある子どもたちに関わり続け現在に至る。